

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子ども・若者育成支援推進事業			事業番号	014-040
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築
			有	取組の方向性	④ひきこもりへの取組		
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		有	取組	ひきこもり対策の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画					
3	事業開始年度	平成 22 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	子ども・若者育成支援推進法、次世代育成支援対策推進法					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	1. 堺市在住の49歳以下で、次の状態にある子ども・若者 ①ひきこもり ②不登校 ③ニート ④非行など			対象数	単位	
		2. 上記困難を抱える子ども・若者の保護者			—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	困難を抱える子ども・若者が健やかに成長し、社会生活を円滑に営むことができるよう支援する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	1. 困難を抱える子ども・若者やその保護者への相談、支援 2. 各専門機関、NPO法人、ボランティアグループ等関係機関との連絡調整 (継続相談者には、居場所や就職準備のプログラムの提供) 3. 教育・就労などに関する情報や、NPO法人等の支援活動、体験活動の情報収集・情報発信 4. アクティビティ (コミュニケーショントレーニング等)、就職準備講座、就業体験等の実施 5. ニート状態の若者の就労相談・就労支援・定着支援の実施 6. 市民及び関係機関への啓発研修					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	特定非営利活動法人みらいず2					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和2年度	令和3年度	目標 令和4年度
				令和7年度		
				目標値	787	811
	実績値	763	873			
	達成率	97%	108%			
	当該指標を選定した理由	困難を抱える子ども・若者やその保護者等からの相談がその後の支援、また、解決につながるきっかけとなるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度比+3%を目標値とする。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和2年度	令和3年度	目標 令和4年度
				令和7年度		
				目標値	270	270
	実績値	250	739			
	達成率	93%	274%			
	当該指標を選定した理由	イベントの実施及び会場でのPRが、相談につながるきっかけとなるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	これまでの実績に基づき、開催方法により算出している。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子ども・若者育成支援推進事業	事業番号	014-040
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	21,088	25,853	25,986	25,947	26,324
13 財源内訳	国支出金	6,500	10,063	10,175	11,475
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	14,588	15,790	15,811	14,472	15,604
14 人件費 (b)	6,840	6,880	6,880	6,880	6,880
15 年間経費(c)=(a)+(b)	27,928	32,733	32,866	32,827	33,204

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	プロポーザル方式による委託業務事業者選定委員会委員報酬	R3 決算	0	期末手当（会計年度任用職員）	R3 決算	294	294
		R4 予算	102		R4 予算	555	555
	ユースサポートセンター運営及び子ども・若者支援地域協議会運営委託料	R3 決算	22,741	11,266	R3 決算		
		R4 予算	22,738	12,018	R4 予算		
	堺市青少年非行防止対策補助金	R3 決算	73	73	R3 決算		
		R4 予算	73	73	R4 予算		
	会計年度任用職員報酬	R3 決算	2,610	2,610	R3 決算		
		R4 予算	2,627	2,627	R4 予算		
	通勤費	R3 決算	229	229	R3 決算		
		R4 予算	229	229	R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		千円	千円
① 堺市ユースサポートセンターでの新規及び継続相談者数	人	763	873
② 上記①にかかる年間経費	千円	30,935	31,052
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	40,544	35,569
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 困難を抱える子ども・若者への支援は、幼少期から青年期に至るまでそれぞれの課題があり、丁寧に向き合っていく必要がある。また、働くことに不安があったり、自分の適性にあった仕事を見つけない方など、働くことの悩みや相談についても1人1人に寄り添い対応していくことが求められる。新規相談者、継続相談者ともに前年より増加したことにより、単位当たりの経費は減少しているが、丁寧な対応が求められる状況に変わりなく、相談対応の質について担保していく必要がある。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 当該事業は、基本計画における暮らしを支えるセーフティネットの構築におけるひきこもりへの取組について以下の通り寄与している。困難や課題を抱える子ども・若者に対する相談窓口を通じ、当事者やその家族に対する支援を行っているほか、ひきこもり等といった困難や課題を乗り越えて、社会復帰や就職を目指すための職業体験やコミュニケーショントレーニング等の就職準備講座を実施している。また、当事者やその家族を対象とした「ひきこもり女子会」をはじめ、支援者や市民のひきこもりに対する正しい理解や対応を啓発する「ひきこもり支援者講演会」を実施することで、ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者が受け入れられ、社会復帰がしやすい環境づくりを提供している。さらに、R3年度はひきこもりの実態調査を実施した。今後調査結果を分析し、必要な人に支援が届く体制を構築することをめざす。